

第24組 広報

発行日
2015年3月1日
第164号
発行責任者
組長 美濃部俊裕

春の法要

二〇一五年

真宗本廟

「ご案内」

真宗本廟（京都・東本願寺）では、4月1日から3日まで、春の法要が勤まります。1日には「師徳奉讃法要」と親鸞聖人の御誕生を慶讃する「親鸞聖人御誕生会（音楽法要）」、2日には非戦・平和の願いをたしかめる「全戦没者追弔法会」、3日には「相続講員物故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会」が勤められます。お誘いあわせのうえ、お参りくださるようご案内申し上げます。

日程表

3日（金）			2日（木）			4月1日（水）			日
引続	11時	7時	14時	引続	7時	14時	引続	7時	時間
帰敬式	相続講員物故者追弔会兼 帰敬式受式物故者追弔会（楽）	帰敬式 御文・法話 法話	シンポジウム（於 視聴覚ホール） 帰敬式	記念講演 法要（楽）	全戦没者追弔法会 御文・法話	親鸞聖人御誕生会（音楽法要） 親鸞聖人御誕生会記念講演	帰敬式 師徳奉讃法要（楽）	任職在任50年記念昼袈裟贈呈式 御文・法話	法要
約1時間	約40分	約2時間	約1時間	約1時間	約40分	約1時間	約50分	約40分	所要時間

新24組門徒会員決まる！

平成27年3月10日～平成30年3月9日

この度任期満了に伴う、各寺責任役員・総代の改選に当たり、各寺代表の組門徒会員が決定しました。会員一覧表を掲載します。(敬称略)

尚、新役員については、臨時総会で選出されますので次号で紹介いたします。

NO	お 寺	門 徒 会 員	門 徒 会 員
1	浄教寺 (東阿閉)	安居 重晴	山岡 達弘
2	恩覺寺 (西阿閉)	下村 博史	廣部 藤一郎
3	覺勝寺 (西阿閉)	北川 正	松山 治彦
4	了覺寺 (熊野)	高山 明朗	岩田 雅男
5	圓行寺 (西柳野)	天野 忠	天野 隆司
6	隨願寺 (柳野中)	高田 邦夫	横塚 庄平
7	妙覺寺 (東柳野)	弓削 正治	弓削 専治
8	教覺寺 (重則)	川越 薫	川嵯 誠
9	充滿寺 (西野)	松井 泰裕	川越 清孝
10	覺念寺 (松尾)	榎本 博	前田 宗太郎
11	本宗寺 (磯野)	橋本 康昭	橋本 泉
12	梅龍寺 (磯野)	上松 俊彦	平井 秀治
13	雙林寺 (西物部)	布施 直信	片山 敏晴
14	證光寺 (東物部)	村田 新五	北川 正
15	慶福寺 (横山)	森田 義人	高山 幸雄
16	立圓寺 (東高田)	七里 從三	吉内 滋
17	猶存寺 (布施)	水上 喜久男	水上 春行
18	長照寺 (唐川)	中川 丈夫	中川 一美
19	圓常寺 (千田)	酒井 利弘	林 甚一郎
20	來入寺 (千田)	林 繁治	富岡 司
21	報春寺 (田部)	中嶋 貞夫	田部 務
22	明樂寺 (木之本)	武田 正彦	川隅 治
23	明德寺 (黒田)	宮部 善一	大音 辰治郎
24	誓海寺 (大音)	清水 孫幸	佃 均
25	樹徳寺 (田居)	横田 幸三	伊香 浩
26	西徳寺 (赤尾)	三家 有幾生	田邊 功二
27	殘景寺 (下余呉)	堀江 正雄	間所 秀夫
28	明源寺 (東野)	小西 克己	田川 正文
29	明正寺 (小谷)	横居 正道	成瀬 義行
30	景好寺 (柳ヶ瀬)	宮川 幸一	熊谷 幸孝

お寺の掲示板

みょうとくじ
明德寺

木之本町黒田

今回は、木之本町黒田の明德寺さんを訪問しました。

黒田は、集落の東の山裾から西の山裾まで、南の方は国道八号線まであり田んぼが広がっています。当地は七ヶ所の集落を持つ大変広範囲の自治会です。この集落全体では約百八十戸で、当寺は本郷と言われている集落の北東にあります。

正面の右側に掲示板があり『鬼は外 福は内 私の身勝手が 豆をまく』というお言葉が書かれてありました。秦信映住職は、自分で思った言葉や新聞や本などから特に季節感を出すよう考えて一ヶ月に一回書いているとのことでした。

その内容は、「私たちが鬼としているものは、災い、不都合、役に立たない事などであり、福としているものは、自分に都合の良い人、良い事や物は、良いこととして、それぞれ自分の物差しを持っている。そのようなことを除災招福としての考え方の基本にある。」とのことでした。

また、住職は、「いったい鬼はどこにいるのか、もし不都合などの事を鬼とするなら、その不都合とを感じる心、鬼としている心こそが鬼ではないか。『鬼は外』と言って豆をまくのは、自分の都合をふりまいていないことではないか。そのことに気づくと、ありがたう、ごめんなさいと自然に出てくる。」とも、話して下さいました。

黒田は、「日頃、話をするとき屋号で言うことが多く温かさがあり共同体意識が高い集落である。」ともお話しされていました。

皆さんも一度「明德寺」さんに、お参りされ掲示板のお言葉に触れられたらと思います。

(取材・広報委員 林)



お彼岸のころ

お彼岸は、一般的にはご先祖の供養をする仏事とされ、この時期になると、お墓やお手次ぎのお寺にお参りするため、遠いところに住んでいる人たちも故郷に戻ってきます。しかし、お彼岸というのは、亡き人々に供物を捧げ、追善(ついせん)する事で自分の無事を祈願する行事ではありません。

「彼岸」とは、阿弥陀仏の浄土(じょうど)を指します。浄土は、私たちが還(かえ)っていく世界であると同時に、迷いの世界である此岸(しがん)に生きる私たちの在り方を照らし、「そのような生き方ではないですか」と問いかけてくる世界です。

お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を偲ぶ(しのぶ)とともに、あらためてそのような問いかけに耳をかたむけ、自分の生活を振り返る大切な時なのです。

「正しいお焼香の作法」

焼香は仏教の儀式には欠かすことのできない大切なことでありまして、灯明と共に釈尊(しゃくそん)ご在世の当時から行われたものであります。香は仏前を荘厳すると共に心身を浄らかに落ち着かせます。勝手な願いごとや、まして不平や恨みの心を含んではならぬことであります。

真宗大谷派のお焼香の作法は、まず焼香すべき尊前にすすみ、御本尊を仰ぎみて、身を正し頭礼(ずらい・軽く頭を下げる)をし、次に右手で香盒(こうごう)の蓋をとり、焼香を二回いたします。(その時、香を額のところまで持ち上げて頂くことはいたしません)そして右手の指先で香の乱れを直します。それから静かにしみじみと合掌礼拝いたします。退いてもとの席に帰ります。(お内仏と御給仕の心得)

別院・24組・組内寺院の法座のご案内

会場	法座名	期日	法話者等
長浜別院	春季彼岸会	3月18日(水) 10時・13時	長谷良雄師(利覚寺)
長浜別院	春季彼岸会	3月19日(木) 10時・13時	未信正寛師(徳恩寺)
長浜別院	春季彼岸会	3月20日(金) 10時・13時	堀澤俊行師(念願寺)
長浜別院	しんらん講座	3月2日(月) 14時～	一楽 真師(大谷大学教授)
長浜別院	しんらん講座	4月20日(月) 14時～	一楽 真師(大谷大学教授)
五村別院	春季彼岸会	3月21日(土) 10時・13時	三山元映師(真勝寺)
五村別院	春季彼岸会	3月22日(日) 10時・13時	一色 孝師(光西寺)
五村別院	春季彼岸会	3月23日(月) 10時・13時	藤森了堅師(真西寺)
五村別院	人生講座	3月25日(水) 14時～	戸次公正師(南溟寺)
五村別院	人生講座	4月14日(火) 14時～	長倉伯博師(善福寺)
浄教寺(東阿閉)	門徒会研修会	4月12日(日) 19時30分	教区派遣講師
明楽寺(木之本)	真宗講座	4月25日(土) 14時～	古田和弘師(九短大名誉学長)
円行寺(西柳野)	永代経	3月14日(土) 9時30分・13時	秦 信映師(明德寺)
充滿寺(西野)	本堂落慶法要	3月22日(日) 10時30分～	沙加戸弘師(大谷大学名誉教授)
梅龍寺(磯野)	永代経	3月15日(日) 10時	住職
圓常寺(千田)	永代経	3月8日(日) 10時・13時	井口光俊師(宿善寺)
來入寺(千田)	永代経	4月19日(日) 10時・13時	亀井 鑛師(名古屋市)
明楽寺(木之本)	永代経	4月14日(火) 10時・13時	五百井正浩師(玉龍寺)
明德寺(黒田)	永代経	3月21日(土) 10時・13時	藤本 有師(浄福寺)
誓海寺(大音)	永代経	3月7日(土) 10時・13時30分	今井良観師(西來寺)
明源寺(今市)	永代経	3月29日(日) 10時・13時	残景寺

五日会連続講座



テーマ 「人生の物語り」

期日 講師：佐賀枝夏文師 (大谷大学名誉教授・臨床心理士)

*第1回 3月5日(木) 起承転結

*第2回 4月5日(日) 樹木に教えられて

*第3回 6月5日(金) 悲しみのはたらき

※時間はいずれも午後2時から4時

会場：五村別院本堂(長浜市五村) ☎0749-73-3133

